

グッドステージレポート

Good
Stage
投資型年金
グッドステージ
新変額個人年金保険

2021年6月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動あんしん生命

ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

ご 注 意

リバランス（定期的に積立金の配分を自動調整する機能）の指定割合を変更いただくには、「リバランスの設定・解除」のお手続きも必要です。

■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	日本株式（A）	会社受付日
	日本株式（B）	
	日本株式（D）	
	世界株式（A）	
債券型	世界債券（A）	会社受付日の翌営業日
総合型	世界バランス（A）	
金融市場型	マネー（A）	会社受付日

■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。

お手続きが可能な時間：9：00～21：00

会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 14：59までに受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：00以降に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

（注）土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

（※）ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

目 次

種類

特別勘定の名称

掲載ページ

株式型

日本株式(A)

3p

■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2

- ☐ 運用会社：フィデリティ投信
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：1.353%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約228.4億円

株式型

日本株式(B)

4p

■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・バリュー株・オープンVA(底力VA)

- ☐ 運用会社：大和アセットマネジメント
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：1.309%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約18.4億円

株式型

日本株式(D)

5p

■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・ジャパン・オープンVA(D.J.オープンVA)

- ☐ 運用会社：大和アセットマネジメント
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：1.309%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約3.8億円

株式型

世界株式(A)

6p

■ 投資対象となる投資信託：大和住銀／T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA

- ☐ 運用会社：三井住友DSアセットマネジメント
- ☐ 投資顧問：ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：1.485%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約64.3億円

債券型

世界債券(A)

7p

■ 投資対象となる投資信託：JDFワールド・ボンド・ファンドVA

- ☐ 運用会社：ブラックロック・ジャパン
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：1.078%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約12.8億円

総合型

世界バランス(A)

8p

■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・バランス・ファンドVA2

- ☐ 運用会社：フィデリティ投信
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：1.353%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約6.9億円

金融市場型

マネー(A)

9p

■ 投資対象となる投資信託：マネー・オープン他

- ☐ 運用会社：大和アセットマネジメント
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：各月ごと^{*2}に決定

※残高は2021年5月末現在

^{*1} 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

^{*2} 各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.55(税込)を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年0.99%(税込)を超える場合には、年0.99%(税込)の率とします。

● 特別勘定について

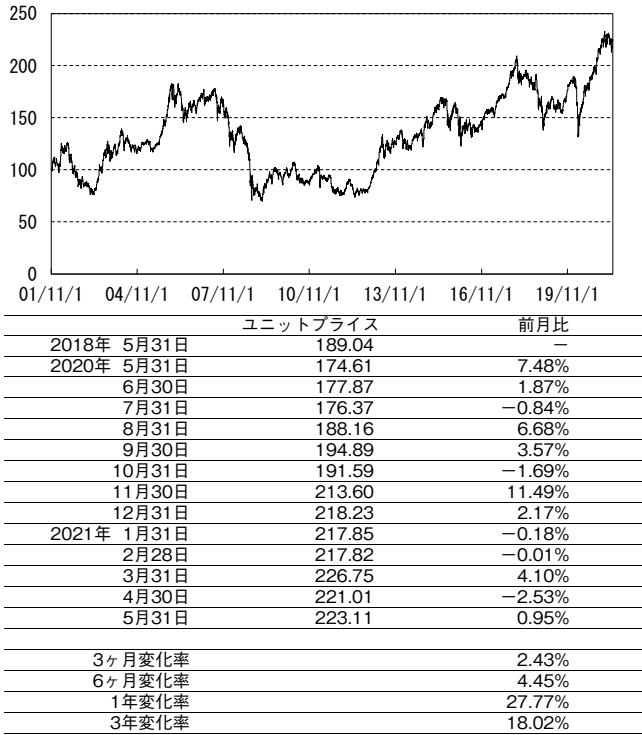
基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2

■特別勘定 純資産総額の内訳（単位：百万円）

資産等の種類	金額	構成比
現預金	285	1.5%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ ファンドVA2	18,338	98.5%
その他	—	—
資産合計	18,624	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	18,624	100.0%

■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 投資対象となる投資信託について

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（配当金込）

運用状況

■市場別構成比（2021.4末現在）

市場	構成比
東証1部	96.0%
東証2部	0.4%
ジャスダック	0.1%
その他市場	1.0%
現金・その他	2.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比（2021.4末現在）

業種	構成比
1 電気機器	22.8%
2 機械	13.1%
3 化学	9.3%
4 情報・通信業	9.2%
5 卸売業	6.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄（2021.4末現在）

銘柄名	業種	構成比
1 ミスミグループ本社	卸売業	4.5%
2 キーエンス	電気機器	4.2%
3 三浦工業	機械	3.7%
4 リクルートホールディングス	サービス業	3.4%
5 オリパス	精密機器	2.5%
6 シマノ	輸送用機器	2.5%
7 東京エレクトロン	電気機器	2.3%
8 キタ	機械	2.3%
9 小糸製作所	電気機器	2.0%
10 オービック	情報・通信業	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 185）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2021.5末現在）

当月の東京株式市場は、中旬に急落する場面があったものの、その後は月末まで上昇基調で推移し、前月末比ではプラスとなりました。経済活動の再開期待などを背景に堅調に推移する米国株の動きを受け、大型連休明けの日本株は上昇して始まりました。しかし中旬に入ると、米長期金利の上昇や米消費者物価指数（CPI）の市場予想を上回る伸びを受けてインフレ懸念が強まったことなどから、米国株と共に日本株も急落を強いられました。ただ米長期金利の上昇が一服し、米国株が切り返すと、日本株も半月ばかり上昇に転じました。ビットコインなど暗号資産（仮想通貨）の価格急落や緊急事態宣言の再延長といった悪材料はあったものの、東京と大阪でコロナワクチンの大規模接種が開始され、経済活動が正常化すると期待などが支えとなり、株価の上昇基調が月末まで続きました。月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が+1.38%、日経平均株価は+0.16%でした。

・当資料は、投資型年金（新変額個人年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金（新変額個人年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社が一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の上場株式および店頭登録株式の中から、取得時にPERおよびPBR等の指標または株価水準からみて割安と判断され、今後株価の上昇が期待される銘柄に投資します。
【投資対象となる投資信託】
ダイワ・バリュー株・オープンVA（底力VA）

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金 額	構成比
現預金	26	1.4%
有価証券等		
ダイワ・バリュー株・ オープンVA（底力VA）	1,848	98.6%
その他	—	—
資産合計	1,874	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,874	100.0%

■ユニットプライスの推移



●

投資対象となる投資信託について

ダイワ・バリュー株・オープンVA（底力VA）の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX

運用状況

■資産構成比率（2021.5末現在）		■上位5業種構成比（2021.5末現在）		■組入上位10銘柄（2021.5末現在）	
資産	構成比	業種	構成比	銘柄名	構成比
国内株式	97.2%	1 化学	12.8%	1 トヨタ自動車	3.2%
国内株式先物	—%	2 電気機器	12.3%	2 日立	3.1%
国内合計	97.2%	3 輸送用機器	7.9%	3 富士フィルムHLDGS	2.8%
※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合		4 機械	7.8%	4 KDDI	2.6%
		5 銀行業	7.5%	5 三井住友フィナンシャルG	2.5%
		※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合		6 武田薬品	2.5%
				7 三菱UFJフィナンシャルG	2.1%
				8 AGC	2.1%
				9 信越化学	1.8%
				10 富士電機	1.8%
				※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 128)	

【運用会社による投資信託へのコメント】（2021.5末現在）
＜株式市況＞ 国内株式市場は上昇しました。月前半は欧米の経済活動再開への期待が高まり、米国におけるインフレ懸念の高まりや量的緩和縮小の議論開始への思惑で株価は軟調に推移しました。しかし、後半に入ると国内において新型コロナウイルスワクチンの高齢者向け大規模接種が開始されたことで、国内におけるワクチン接種の進展期待が高まり、株価は反発し、月間ではプラスとなりました。
＜運用経過＞ 5月にかけて発表された2021年3月期の決算を踏まえ、これまで取り組んできた構造改革や設備投資などの施策によって業績の回復が期待される企業や、株主還元政策の変化が期待される企業などに注目して、銘柄の入れ替えを行いました。具体的には、海外事業の回復と株主還元政策の向上に注目した自動車関連株や、海外投資の収益回収が進む食品関連株、大型買収の再評価が今後進むと期待される化学関連株などを買い付けました。一方で不採算案件の中期にわたる悪影響が懸念された機械設備関連株や、株主還元期待が後退した通信関連株などを売却しました。このような売買や株価変動により、業種構成では、化学、食料品、繊維製品などの比率が上昇し、機械、建設業、非鉄金属などの比率が低下しました。

・当資料は、投資型年金（新変額個人年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金（新変額個人年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報で東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社が一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●

特別勘定について

基本情報

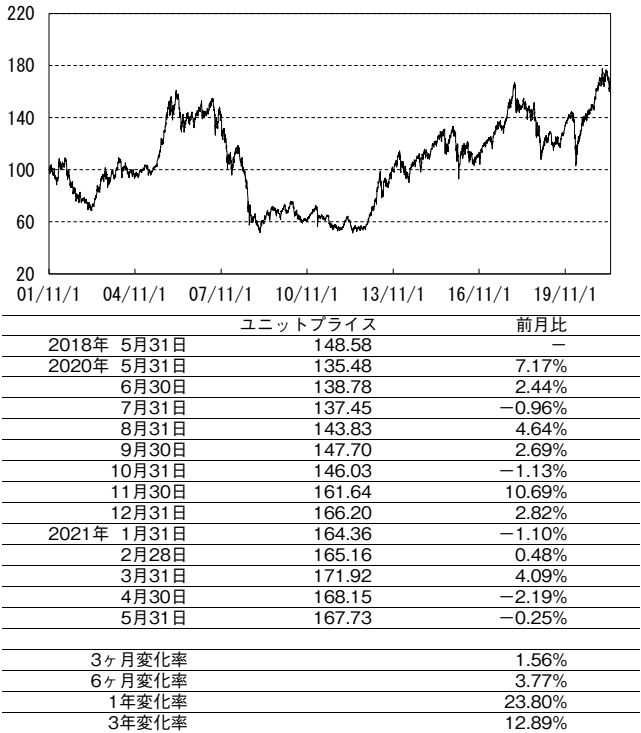
【特別勘定の設定日】2001年11月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の証券取引所上場株式を主要投資対象とします。ボトムアップアプローチを基本とし、各種投資指標から判断して割高と判断される銘柄を除外して投資します。
【投資対象となる投資信託】
ダイワ・ジャパン・オープンVA（D.J.オープンVA）

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金 額	構成比
現預金	21	5.4%
有価証券等		
ダイワ・ジャパン・オープンVA（D.J.オープンVA）	383	97.0%
その他	—	—
資産合計	404	102.4%
負債合計	9	2.4%
純資産総額	394	100.0%

■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

●

投資対象となる投資信託について

ダイワ・ジャパン・オープンVA（D.J.オープンVA）の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX

運用状況

■資産構成比率（2021.5月末現在）		■上位5業種構成比（2021.5月末現在）		■組入上位10銘柄（2021.5月末現在）	
資産	構成比	業種	構成比	銘柄名	構成比
国内株式	94.5%	1 電気機器	30.2%	1 ソニーグループ	7.6%
国内株式先物	—%	2 化学	9.8%	2 キーエンス	6.7%
国内合計	94.5%	3 機械	9.4%	3 信越化学	5.5%
※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合		4 情報・通信業	7.6%	4 東京エレクトロン	4.4%
		5 サービス業	7.4%	5 日本電産	4.2%
		※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合		6 任天堂	3.9%
				7 村田製作所	3.7%
				8 ダイキン工業	3.1%
				9 スクウェア・エニックス・HD	3.0%
				10 リクルートホールディングス	3.0%
				※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 81）	

【運用会社による投資信託へのコメント】（2021.5月末現在）

5月の国内株式市場は上昇しました。月前半は欧米の経済活動再開への期待が高まる一方、米国におけるインフレ懸念の高まりや量的緩和縮小の議論開始への思惑で株価は軟調に推移しました。しかし、後半に入ると国内において新型コロナウイルスワクチンの高齢者向け大規模接種が開始されたことで、国内におけるワクチン接種の進展期待が高まり、株価は反発し、月間ではプラスとなりました。

運用実績については、ベンチマークであるTOPIXを下回りました。この要因として、業種では、輸送用機器のアンダーウエートなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、業績が堅調に推移している人材関連銘柄などがプラスに寄与しましたが、先行きの受注減速に対する警戒感が強まった電子部品関連銘柄などがマイナス要因となりました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社が一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日
【資産分類】外国株式
【運用方針】
日本を除く世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。
【投資対象となる投資信託】
大和住銀／T. ロウ・プライス外国株式ファンドVA

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金 額	構成比
現預金	66	2.8%
有価証券等		
大和住銀／T.ロウ・プライス 外国株式ファンドVA	2,356	97.2%
その他	—	—
資産合計	2,423	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	2,423	100.0%

■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

●

投資対象となる投資信託について

大和住銀／T. ロウ・プライス外国株式ファンドVAの基本情報

【運用会社】三井住友DSアセットマネジメント
投資顧問：ティール・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク
【運用対象】日本を除く世界各国の株式
【ベンチマーク】MSCIコクサイ・インデックス（円換算）

運用状況

■地域別内訳 (2021.5月末現在)

地域別	ポートフォリオ構成比
西欧	23.1%
東欧	0.0%
中東	0.0%
アフリカ	0.0%
北米	59.8%
中米	5.9%
南米	0.8%
アジア	8.1%
オセアニア	0.0%
その他	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■業種別内訳 (2021.5月末現在)

セクター	構成比
エネルギー	0.0%
素材	1.2%
資本財・サービス	13.8%
一般消費財・サービス	15.6%
生活必需品	2.3%
ヘルスケア	12.6%
金融	19.3%
情報技術	16.8%
コミュニケーション・サービス	13.1%
公益事業	0.0%
不動産	3.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄 (2021.5月末現在)

銘柄	国名	業種	構成比
1 FACEBOOK INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.6%
2 LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	イギリス	金融	4.3%
3 SCHWAB (CHARLES) CORP	アメリカ	金融	4.3%
4 UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	ヘルスケア	4.2%
5 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.7%
6 BANK OF AMERICA CORP	アメリカ	金融	2.8%
7 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	2.8%
8 GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財・サービス	2.7%
9 AIRBUS SE	オランダ	資本財・サービス	2.4%
10 AXIS BANK LTD	インド	金融	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 70)

【運用会社による投資信託へのコメント】 (2021.5月末現在)

「コロナ禍」における勝者といわれる企業の業績や株価が勢いを失い始める一方、「コロナ禍」の敗者といわれる企業も依然として大きな回復を示さない過渡期にあるなか、市場は徐々に経済再開を織り込み始め、「コロナ禍」の敗者の自律回復を後押ししています。依然として前例のない流動性の供給や、景気刺激策などを背景として、市場のリスク選好は押し上げられると見えています。

2021年に入ってから、当ファンドは前向きな見通しを維持しています。「コロナ禍」が収束しつつあるなか、当ファンドは、不人気であっても業績の改善が見込める企業への投資に注力します。このアプローチには、想像力と慎重な逆張り姿勢が不可欠ですが、当ファンドのグローバル調査網を活用することで優れた投資判断が可能であると信じています。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報で東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社が一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界債券 (A)

(2021年5月末現在)

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

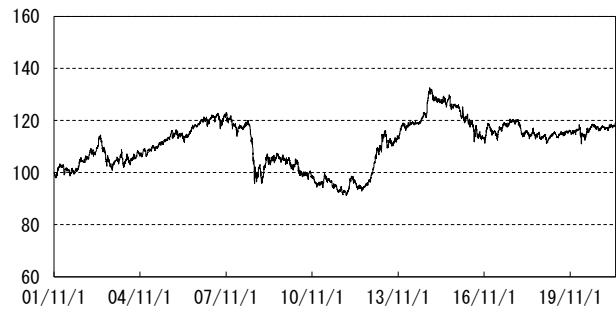
JDFワールド・ボンド・ファンドVA

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	26	2.0%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンドVA	1,283	98.0%
その他	—	—
資産合計	1,309	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,309	100.0%

■ユニットプライスの推移



(円／ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

ユニットプライス	前月比
2018年 5月31日	—
2020年 5月31日	1.11%
6月30日	1.29%
7月31日	0.82%
8月31日	−0.18%
9月30日	0.25%
10月31日	−1.35%
11月30日	0.82%
12月31日	0.55%
2021年 1月31日	−0.30%
2月28日	−0.98%
3月31日	1.78%
4月30日	−0.22%
5月31日	0.90%

3ヶ月変化率 2.47%

6ヶ月変化率 1.72%

1年変化率 3.37%

3年変化率 4.93%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンドVAの基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス (円ベース)

運用状況

■国別通貨別構成比率 (2021.5末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨
米国	36.5%	13.6%	35.5%
カナダ	1.7%	2.3%	1.7%
メキシコ	0.7%	0.7%	0.7%
南アフリカ	—%	—%	0.0%
日本	17.0%	18.2%	16.6%
オーストラリア	1.8%	2.0%	1.9%
シンガポール	0.4%	0.3%	0.8%
中国	—%	1.1%	1.1%
マレーシア	0.4%	—%	—%
ユーロ	34.2%	35.9%	34.2%
英国	5.5%	5.2%	5.6%
デンマーク	0.4%	0.3%	0.4%

	ベンチマーク	債券	通貨
スウェーデン	0.3%	0.4%	0.3%
ポーランド	0.5%	0.7%	0.6%
ノルウェー	0.2%	0.2%	0.3%
イスラエル	0.4%	—%	0.4%
キャッシュ等		19.2%	—%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2021年6月の構成比率

※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます

※通貨は実質為替相対比率

※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

■組入上位10銘柄 (2021.5末現在)

銘柄名	利率	償還年月日	構成比
1 アメリカ国債	0.125	2022/5/31	6.1%
2 日本国債	1.800	2031/9/20	6.0%
3 日本国債	0.100	2022/3/20	3.6%
4 アメリカ国債	0.125	2022/7/31	2.8%
5 フランス国債	—	2024/3/25	2.2%
6 日本国債	0.100	2029/9/20	1.9%
7 スペイン国債	1.400	2028/4/30	1.7%
8 イタリア国債	3.000	2029/8/1	1.6%
9 イギリス国債	4.500	2042/12/7	1.6%
10 日本国債	0.400	2025/6/20	1.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 253)

修正デュレーション＝平均8.34年 (ベンチマーク＝同8.59年)

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していること、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日
【資産分類】バランス
【運用方針】
日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品に分散投資を行います。原則として為替ヘッジは行いません。
【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・バランス・ファンドVA2

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金 額	構成比
現預金	17	2.4%
有価証券等		
フィデリティ・バランス・ ファンドVA2	691	97.6%
その他	—	—
資産合計	708	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	708	100.0%

■ユニットプライスの推移



(円／ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2018年 5月31日	126.85	—
2020年 5月31日	126.34	3.15%
6月30日	127.31	0.77%
7月31日	127.68	0.29%
8月31日	133.23	4.35%
9月30日	132.11	−0.84%
10月31日	129.48	−1.99%
11月30日	138.05	6.62%
12月31日	140.14	1.51%
2021年 1月31日	140.40	0.18%
2月28日	141.87	1.05%
3月31日	147.60	4.04%
4月30日	148.94	0.91%
5月31日	150.16	0.82%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

●

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・バランス・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
【運用対象】日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品
【ベンチマーク】複合インデックス（円ベース）
● TOPIX（配当金込）（25%）
● MSCIワールド・インデックス（除く日本／税引前配当金込）（25%）
● FTSE日本国債インデックス（15%）
● FTSE世界国債インデックス（除く日本）（10%）
● FTSE世界マネーマーケット・インデックス1ヶ月ユーロ預金インデックス（円セクター）（15%）
● FTSE米短期国債インデックス1ヶ月米国債インデックス（10%）

運用状況

■資産別組入状況（2021.4末現在）

	構成比
日本株式	23.8%
外国株式	39.6%
北米	29.5%
欧州	8.5%
その他	1.6%
円建債券	3.5%
外貨建債券（含 債券型投信0.0%）	10.7%
円建短期金融商品	8.5%
外貨建短期金融商品	9.4%
現金・その他	4.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合
※短期金融商品には残存期間1年未満の債券を含みます。
※株式には投資証券、リート、ワラントを含みます。

■株式組入上位5銘柄（2021.4末現在）

銘柄名	国名	業種	構成比
1 アップル	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア及び機器	2.0%
2 マイクロソフト	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.8%
3 アルファベット	アメリカ	メディア・娯楽	1.3%
4 アマゾン・ドット・コム	アメリカ	小売	1.2%
5 キーエンス	日本	電気機器	1.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■債券組入上位5銘柄（2021.4末現在）

銘柄名	国名	構成比
1 米国国債 1.5% 2021/09/30	アメリカ	9.4%
2 第954回 国庫短期証券 2021/05/25	日本	4.9%
3 第51回 20年国債 2% 2021/06/21	日本	3.7%
4 第156回 20年国債 0.4% 2036/03/20	日本	3.2%
5 米国国債 2.875% 2023/10/31	アメリカ	3.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■通貨別組入状況（2021.4末現在）

通貨	構成比
アメリカ・ドル	46.1%
日本・円	38.1%
ユーロ	9.9%
イギリス・ポンド	1.5%
その他	4.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■銘柄数 354

(2021.4末現在)

・当資料は、投資型年金（新変額個人年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金（新変額個人年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】短期金融商品

【運用方針】
円建ての短期金融商品を中心に投資します。流動性に十分配慮し、
リスクを抑えた安定的な運用を行います。

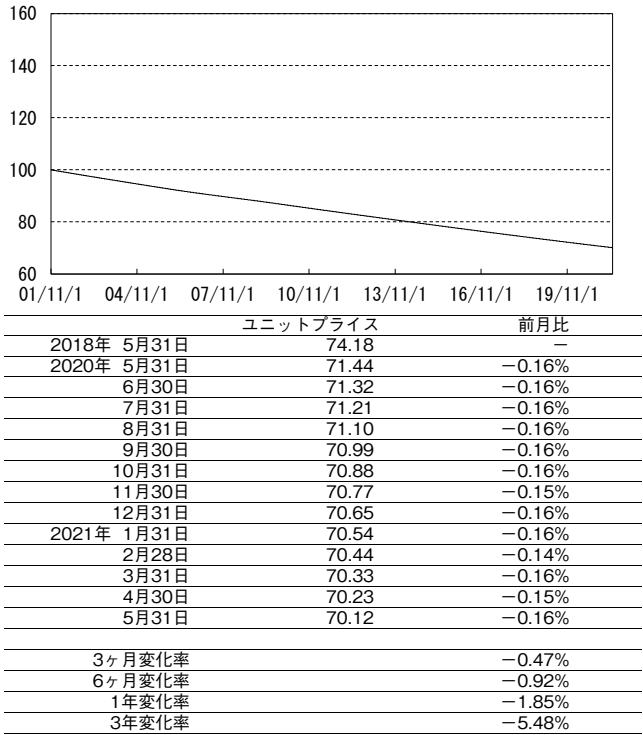
【投資対象となる投資信託】
マネー・オープン 他

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金 額	構成比
現預金	630	75.4%
有価証券等		
マネー・オープン	205	24.6%
その他	—	—
資産合計	836	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	836	100.0%

■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

●

投資対象となる投資信託について

マネー・オープン 他の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】円建て短期金融商品

【ベンチマーク】特に定めなし

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移動費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<用語解説集>

—アルファベット—

FTSE 世界国債インデックス

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

MSCI 指数

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル(MSCI)は、30年以上に及ぶ歴史の中で培った独自の手法を基に、世界の証券市場をカバーする包括的なグローバル指数の構築を行っています。MSCI指数は、国際投資における最も信頼性の高いグローバル・ベンチマークとして、世界中の分散投資家およびグローバルに資産運用を行うポートフォリオ・マネージャーの間で幅広く利用されています。

MSCI Kokusai Index

日本を除く先進国市場で構成される指数。

—ア行—

アクティブ運用

市場が効率的ではないという仮説に基づき、その非効率性を利用(独自の調査、見通し、手法等)して、市場平均よりも高いパフォーマンスを得ることが可能であるとする運用スタイル。

—カ行—

格付

格付とは個別債券の発行体の元本償還、利払いの確実性について、格付機関が記号でランク付けするものです。格付の表示記号は格付機関によって違いはありますが、AAAを最高位に、以下AA→A→BBB…とアルファベットで表示するのが一般的です。そして、BBB以上の債券については投資適格債、それ未満は投資不適格債(ジャンク債)として区別しています。この格付は債券の利率に影響を与え、高格付債は安全性が高い分、利率は低く、低格付債は安全性が低い分、利率は高くなります。

為替ヘッジ

外貨建資産投資に伴う為替変動リスクを回避する手段として為替ヘッジがあります。具体的には、為替先物予約等を活用して、円換算時の為替レートを予約します。ただし、為替ヘッジを行うためには、ヘッジコストがかかることになり、その分パフォーマンスに影響を与えることになります。

—サ行—

新変額個人年金保険

年金が資産の運用実績に基づいて増減する年金保険です。

成長株投資

株式の投資スタイルの1つで、「グロース型」ともいい、企業の利益成長率を重視し、成長力、収益力が高いと思われる企業に投資を行います。

—タ行—

積立金

特別勘定で管理・運用されている資産のうち個々のご契約に係る部分をいい、資産運用実績により毎日増減します。

デュレーション

債券価格の変動金利に対する感応度を表し、例えば、債券のデュレーションが大きいほど金利変動に対する債券価格の変動率が大きくなります。また、これは債券投資元本の回収までに要する加重平均残存期間と表すこともできます。

東証株価指数(TOPIX)

東証一部全上場銘柄の各株価に、それぞれの上場株式数を乗じ指数化したものです。時価総額加重方式の指数で、市場実勢を最もよく反映している指数といえます。日経平均株価の欠点を補うために1968年1月4日創設されました。

特別勘定

新変額個人年金保険の資産を運用・管理するための専用勘定であり、他の保険種類の資産とは明確に区分経理されます。当社の新変額個人年金保険では、複数の特別勘定を設置して、各特別勘定毎に独立して運用・管理を行います。

—ハ行—

パッシブ運用

市場が効率的であるという仮説に基づき、市場平均以上のパフォーマンスを得ることはできないため、市場ポートフォリオ(インデックス全構成銘柄)等に投資する運用スタイル。

ベンチマーク

「基準」という意味で幅広く使われる言葉で、資産運用に関連しては、運用の目標基準あるいは運用成績の相対的な評価基準を示します。

—ヤ行—

ユニット数(単位数)

個々の契約に係る積立金のうち、各特別勘定の部分を各特別勘定のユニット単価で除して求めた数(口数)です。契約者における各特別勘定ごとのユニット数は、契約内容の変更等を通じて増減します。

ユニットプライス(単位価格)

各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位数)に対する価額のことをいい、設定時を「100」とする指数で表示されます。特別勘定資産の評価(ユニットプライス)を反映しています。

—ラ行—

リザーブファンド

急激な相場の変化時や今までの利益を確定したい場合等に、一時的に資産を待避させるためのファンド。

—ワ行—

割安株投資

株式の投資スタイルの1つで、「バリュ型」ともいい、例えば、PER(株価収益率)、PBR(株価純資産倍率)、利回り等の指標から割安と判断した銘柄に対して投資を行います。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

ご負担いただく費用について

■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項 目	費 用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.85%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項 目	適 用	費 用
積立金移転費用	1 保険年度12回を超える積立金の移転の際	1 保険年度に12回までの移転…無料 1 保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.85%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)

■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

- 保証期間付終身年金、確定年金の場合

項 目	適 用	費 用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

- 特別勘定年金の場合

項 目	適 用	費 用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】 大和証券 Daiwa Securities	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/ ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ  0120-155-730 受付時間 平日9：00～17：00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
--	--